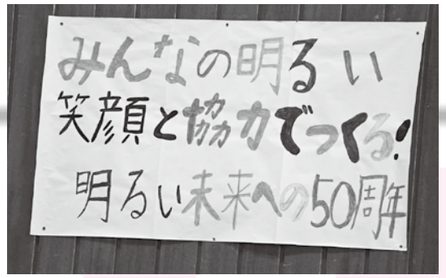
まちの話題



放水体験をする参加者



消防演習
消防活動への関心向上

金ケ崎町消防演習が10月18日、黒沢川せせらぎ公園で行われました。町消防団、少年消防クラブなど関係者が参加。町消防団の観閲や車両点検を始め、消防署員によるロープ救助訓練の披露、放水訓練や子どもを対象にした消防体験、消防車両試乗、奥州市消防団の協力出演によるカラーガード隊の披露などが行われました。関係団体が消防への理解を深め、訓練の大切さを再確認。千葉正男(まさお)団長は「消防団は近年多発する災害対応の要である。日頃から誇りと勇気を胸に活動に取り組んでいってほしい」と述べました。





町立西小学校50周年
新しい伝統を

町立西小学校（坂井ふき子校長）で10月31日、同校の創立50周年記念式典が開催されました。昭和51年4月に川目小学校と和光分校を統合し開校され、昭和61年に第一小学校千貫石分校の閉校と共に統合され現在に至っています。主催者を代表し畠山一三実行委員長が「良き伝統を受け継ぎ、さらに新しい校風を作っていってほしい」と式辞。歴代の校長、PTA会長に感謝状等が贈呈されたほか、読み聞かせボランティア「セフィロスの会」による記念講演『大工と鬼六』の披露や全校児童による「Believe」の合唱が行われました。

町内産食材の日給食
おいしい給食

町内産食材の日給食が10月5日、町内小中学校で実施され、町産食材を使った給食が提供されました。同日には生産者と役場関係者が第一小学校（和田成枝(なりえ)校長）を訪問。児童と一緒に美味しい給食を楽しみました。1年生の教室に参加した有住チヨノさんは児童から質問を受けると、食材の美味しさの秘訣を回答。児童は美味しく学ぶ給食を堪能しました。



町産食材をふんだんに使った給食を楽しむ児童
（写真は2年生教室）

義援金を高橋町長へ手渡す町赤十字奉仕団の皆さん



令和8年熊本地震災害の募金活動報告
早期の復興に向けて

町赤十字奉仕団（氏家富士子(ふじこ)委員長）は10月9日、7月28日に発生した令和8年熊本地震災害への義援金として、町内商業施設で募った義援金72,754円を、日本赤十字社岩手県支部金ケ崎町分区（高橋文浩分区長）に寄託しました。氏家委員長は「温かい気持ちと寄附金を被災地に届け、愛と勇気を届けられれば」と早期の復興を願いました。

「私の地元応援募金」
地域の活力に

町は、明治安田生命保険相互会社から寄附金508,094円の贈呈を受け、10月21日に目録贈呈式が行われました。寄附金は「私の地元応援募金」として、同社の拠出金と社員による任意寄附により集められ令和4年度から毎年贈呈されています。寄附金は子育て支援として、保育料完全無償化に有効に活用されます。



目録を手渡す西原岩手県南支社市場統括部長（左）

大きなサツマイモを見つけ大興奮



たんぽぽ保育園サツマイモ掘り収穫体験
大きいお芋がとれたよ

たんぽぽ保育園（佐藤泉(いずみ)園長）年長児及び年中児41名は10月23日、町菜園パークでサツマイモ掘り体験を行いました。今回収穫したサツマイモは5月に同園の園児が苗を植え、子どもたちが自らの手で育てた作物を収穫する貴重な体験。土の中から顔をのぞかせるさつまいもに興味津々の園児たちが、スコップを手に一生懸命掘り進め大きなさつまいもを収穫しました。